

令和6年度行政評価 施策評価シート (令和5年度実績)  
 施策名 新たな文化創造・文化活動の推進

施策コード 5020303

1. 施策の担当	
主管課	市長公室 政策推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり (子育て・教育)	節 第3節 生涯学習・スポーツ
	施策	新たな文化創造・文化活動の推進	

**基本方針**

- ・子育て世帯や団塊の世代に対して、文化への親しみや文化活動による世代間の交流が持てるよう支援し、その文化の魅力を内外に発信します。
- ・文化会館の管理運営は、最小の経費で最大の効果が発揮できるよう努めるとともに、使用料のあり方等について検討し、利用者の増加に努めます。
- ・利用者ニーズに合った施設の改修整備等を効率的、計画的に行い、施設の利用環境を整備するとともに、利用者の利便性の向上を図ります。

**現況と課題**

- ・文化会館は築25年を過ぎ老朽化が進んでいくため、計画的に維持修繕、改修を行う必要があります。
- ・令和元年度までは稼働率も安定していましたが、令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染症が流行し、拡大防止のための措置を取らざるを得なくなりました。令和5年度以降は、変化する生活スタイルに対応する新たな手法を検討していくことが必要です。
- ・仕事・家事・育児・介護で忙しいことによる文化芸術活動機会の減少が考えられるため、その中で文化会館として催しをどのように企画して取り組んでいくかが課題となっています。
- ・情報化の進展による新しい芸術の創造にも工夫を凝らしていく必要があります。

**施策目標**  
 対象(誰を、何を、どこを)

市民

**意図(どのような状態にしたいのか)**  
 歴史文化に加え、閑空をあわせもつ泉佐野市文化を発信し、都市イメージ・魅力の向上を図ります。空港、りんくうタウン、文化会館を文化拠点として、活用・連携を推進します。

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度(偏差値)	43.9						
重要度(偏差値)	35.4						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	千円	R4決算	R5決算				
	事業費		8,330	7,771				
	フルコスト		1,008,188	1,003,173				
財源内訳	国庫支出金	千円	1,016,518	1,010,944				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		119	119				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		1,016,399	1,010,825				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		1,008,069	1,003,054				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1 文化会館の貸館利用率							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0
実績値	54.1	59.0	59.3				
達成度	71.18	76.62	76.03				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景				
市民の文化拠点施設である文化会館の貸館利用率を把握することにより、市民の文化活動が向上しているかどうかの目安となる。	年間1%の伸びを目標とする。		令和5年度の貸館利用率は59.3%であり、前年度から0.3ポイント増となった。これは、新型コロナウイルス感染症の感染防止策が一定緩和されたことが要因である。				

② KPI 2		文化会館の利用に関する満足度					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値	79.3	88.9	89.6				
達成度	88.11	98.78	99.56				

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
文化会館の利用に関する満足度の向上により、施設全般のハード・ソフト面において利用者が満足されていることがわかる。また、今後の施設改善をしていくための検討材料となる。		平成21年実績で文化会館の利用に関する満足度78.8%となり、単年度達成率が123.12%となったため、平成22年度より目標値の設定をより高いレベルで見直し。さらに、平成26年度から毎年度90%を目標設定とし、貸館利用者の満足向上をめざす。		貸館利用者満足度について、満足と答えた方は89.6%となり、対前年比で0.7ポイント増加したものの、目標の90%には達しなかった。（やや満足8.3%、やや不満0.0%・不満2.1%）また、スタッフの言葉づかいの満足度は90.4%、応接態度の満足度は91.5%、説明方法の満足度は93.3%であった。			

③ KPI 3		文化会館の自主事業に対する満足度					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	98.6	96.8	98.4				
達成度	98.6	96.8	98.4				

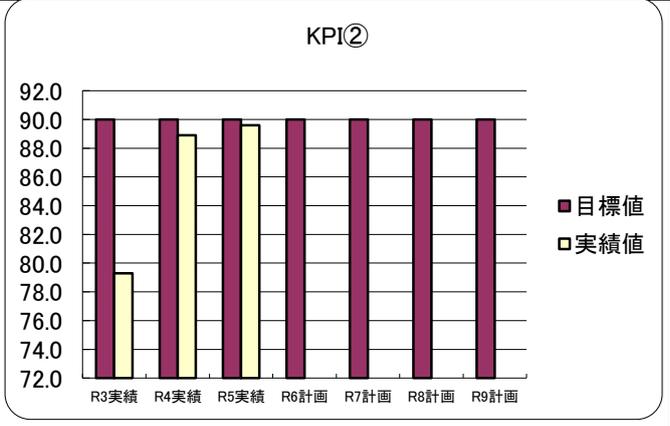
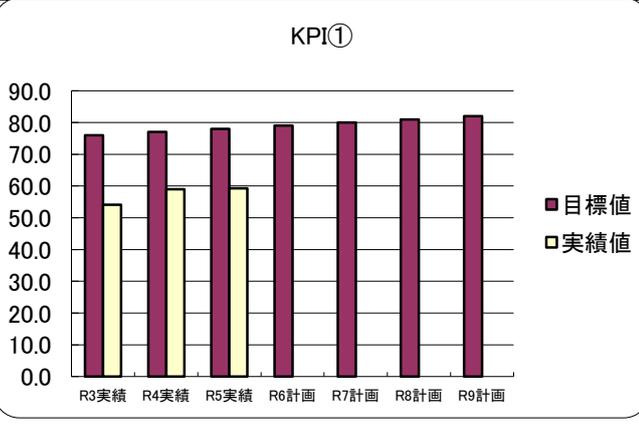
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
自主事業の満足度を把握することにより、文化振興事業における市民ニーズ等の動向が把握できるとともに今後の事業手法の検討材料にもなります。		自主事業に対する満足度については、大変良い・良い・普通・良くないの区分で把握。平成25年度までは大変良いの区分を実績値としていたが、平成26年度からは大変良いに加え良いの区分も実績値とし、毎年度100%を目標値とする。		対前年度比で1.8ポイント増加し、高い値をキープしている。			

④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

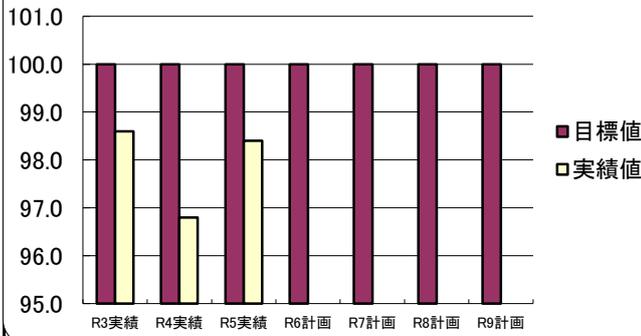
⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

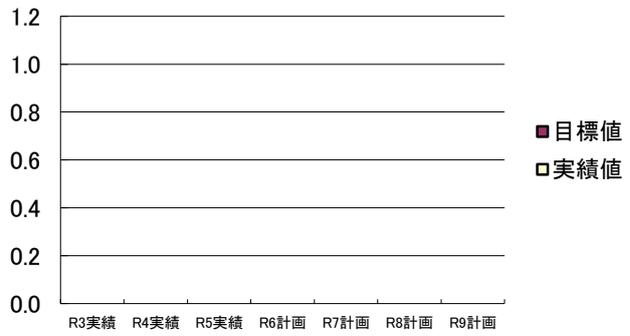


図表

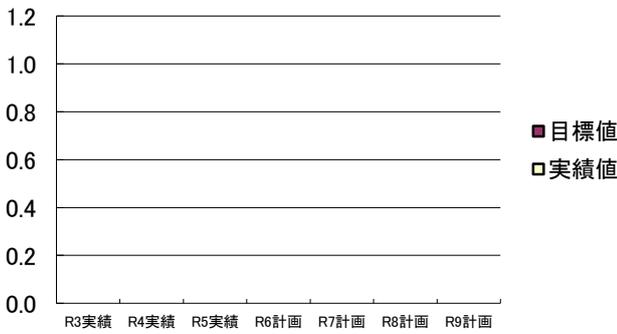
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>3</b>	文化振興事業の自主事業総収支比率は71.5%となり、前年度と比較して1%減少した。計画した主催事業については感染症防止対策を徹底したうえで、公演の中止および延期等することなくすべて実施できた。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>1</b>	館内3箇所にアンケート回収箱を設置し、その結果を貸館利用の改善に活用。また自主事業のアンケート調査については市民ニーズの把握に努め、事業選択の材料として活用している。令和5年度は、コロナ禍における感染症防止策が一定緩和されたことにより、利用者が増加し、それに伴いアンケート回答数も増加した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>1</b>	平成22年度より5年間財団法人泉佐野市文化振興財団が指定管理者となる。公益法人改革の中で、平成23年4月1日より一般財団法人へ移行。市の財政健全化計画とも整合性をとる。平成28年度からの5年間に引き続き、令和4年から5年間一般財団法人泉佐野市文化振興財団が指定管理者となる。
	合計点	(10点中) <b>5点</b>	
	総合評価	<b>C</b>	施設利用率の実績は、昨年度比0.3ポイント増の59.3%となった。自主事業に対する満足度(「大変良い」「良い」)は前年度比1.6%増の98.4%で、高い割合を維持している。令和5年度は、計画した主催事業については感染症防止対策を徹底したうえで、公演の中止および延期等することなくすべて実施でき、感染拡大前の状況に戻りつつある。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>C</b>	利用者の満足度は高いが、市民アンケートH30との比較では重要度も満足度も微減している。その要因と分析が必要である。
三次評価 (理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		<b>C</b>	利用者の満足度は高いが、市民アンケートH30との比較では重要度も満足度も微減している。その要因と分析に努めること。

7. 施策を構成する事務事業

	予算コード	事務事業名	R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01005450	文化会館等管理運営事業	7,771	1,003,173	1,003,054	0	B
合計			7,771	1,003,173	1,003,054	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020303010	予算コード	01005450	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	文化会館等管理運営事業	正規職員数	0.5	国庫支出金	0	有効性	B	文化会館については、これまでの経験に基づき安定した管理運営を行っている。令和5年度は、計画した主催事業については感染症防止対策を徹底したうえで、公演の中止および延期等することなく全てを実施。利用料金収入などが増収したことにより黒字転換を果たした。引き続き、ノウハウや経験を有する指定管理者による適切な管理運営を行う。		
担当課	政策推進課	嘱託職員数	1	府支出金	0	効率性	B			
根拠法令等	市単独事業 ■条例・規則 泉佐野市立生涯学習センター、図書館、歴史館いずみさの、文化会館、公民館条例	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	B			
		歳出(千円)	7,771	その他	119	受益者負担	B			
		人件費総額	7,771	一般財源	1,010,825					
				減価償却費	0					
				事業費	1,003,173					
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	1,010,944	緊急性	D	事務事業実施内容				
実施手法	全部委託	市民1人当たりコスト(円)	10,203	公的関与	C	文化会館では、自主事業を38事業・52公演実施。計画した主催事業については、感染症防止対策を徹底したうえで、公演の中止および延期等することなく、全てを実施。				
対象		活動指標	R5実績	実施主体・委託化	C					
不特定の市民	対象数	文化会館施設利用区分可能件数	11,863.0	他の事務事業との関連	D					
		総合文化センター開館日数	308.0	透明性	B					
事業の内容		生涯学習センター開館日数	294.0	財政健全化計画	A					
文化会館等管理運営事業として以下の業務を指定管理において行うとともに、総合文化センターのセールアンドリースパックのリース料の支払いを行っている。 ①市立文化会館、生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館、日根野公民館の各施設の貸出等及び施設管理業務。 ②市立文化会館のホール舞台等の設備維持管理業務 ③文化振興自主事業等の展開 ④総合文化センターの施設維持管理業務		公民館開館日数(佐野公民館・長南公民館・日根野公民館)	293.0	財政健全化の取組	A					
		長南公民館開館日数		改革改善プラン達成度	該当なし					
		成果指標	R5実績							
		文化会館施設利用区分件数	4,447.0							
		文化会館来館者数	164,606.0							
	生涯学習センター来館者数	83,283.0								
	公民館来館者数(佐野公民館・長南公民館・日根野公民館)	50,326.0								
	長南公民館来館者数									
事業の目的		コスト指標	R5実績							
利用者ニーズを満たすことのできる施設を目指し、良好な施設環境を構築する。 文化会館等各施設の貸し出し業務をスムーズに行う。 市民の文化活動の振興や鑑賞事業などの文化に触れ合う機会の提供による地域文化創造への寄与及び団体や各クラブ等との連携による地域に根ざした公民館活動を行う。		文化会館利用率(稼働率)	37.5							
		文化会館等来館者一人あたりの経費	3,392.7							